

### SF 1-3 1 : 組織学 1 (細胞の構造)

日時 : 11月25日(月) 2時限

担当者 : 高野 和敬(解剖学)

内容 :

1. ★PS-01-02-10~15) 人体構造にみられる階層性について説明できる。
2. ★PS-01-01-02~05) 細胞の基本的な構造と機能について説明できる。
3. ★PS-01-01-01) 各種顕微鏡のしくみと観察用途について説明できる。
4. ★PS-01-01-01) 光学顕微鏡観察のための基本的な標本作製法について説明することができる。

キーワード :

細胞, 核, 細胞膜, 細胞質, 細胞小器官, 細胞骨格, 細胞間接着構造, 細胞分裂, 組織, 器官, 個体, 光学顕微鏡, 電子顕微鏡, 固定, 包埋, 薄切, H.E. (ヘマトキシリン・エオジン)染色

教科書 :

- ◆ 日本人体解剖学 下巻 (南山堂) 第20版: pp.9~11 参照

参考書 :

- ◆ Essential 細胞生物学 (南江堂) 原書第4版: pp.1~38 参照
- ◆ 標準組織学 総論 (医学書院) 第6版: pp.1~5, 306~331 参照

準備 :

予習 : 教科書の上記の該当ページを読んでおく。また、既に学習した Essential 細胞生物学 pp.1~38 第1章「細胞:生命の基本単位」について復習しておく。インターネット等の情報を利用して、顕微鏡による生物観察の歴史と発展について考察してみる。(15分程度)

復習 : 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

### SF 1-3 2 : 組織学 2 (組織の分類)

日時 : 11月25日(月) 3時限

担当者 : 高野 和敬(解剖学)

内容 :

★PS-01-02-10~15)

1. 器官を構築する組織の分類について説明できる
2. 各組織の基本構造と機能について説明できる。

キーワード :

上皮組織, 支持組織, 筋組織, 神経組織

教科書 :

- ◆ 日本人体解剖学 下巻 (南山堂) 第20版: pp.11~22 参照

参考書 :

- ◆ 標準組織学 総論 (医学書院) 第6版: pp.6~8, 88~305 参照

準備 :

予習 : 教科書の上記の該当ページを読んでおく。(15分程度)

復習 : 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

### SF 1-3 3 : 組織学 3~5 (組織学実習 1)

日時 : 11月26日(火) 1時限

担当者 : 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

**内容：**

各自が採取した口腔粘膜上皮細胞、および、細胞分裂像・筋組織・神経組織の光学顕微鏡用標本を顕微鏡で観察してスケッチする。

1. ★PS-01-01-01) 光学顕微鏡の基本構造と操作について説明できる。
2. ★PS-01-01-01) 光学顕微鏡用標本の作製法について説明することができる。
3. ★PS-01-01-05, PS-01-02-10~15) 真核細胞および組織の三次元構造をイメージできる。
4. ★PS-01-01-08) 体細胞分裂の過程について説明できる。
5. ★PS-01-02-14) 筋組織の基本構造を説明できる。
6. ★PS-01-02-13) 神経組織の基本構造を説明できる。

**キーワード：**

光学顕微鏡，細胞，核，染色体，細胞分裂，筋組織，骨格筋，筋繊維，横紋，筋節，神経組織，脊髄神経節，神経細胞(ニューロン)，神経細胞体，樹状突起，神経線維，神経突起(軸索)，髓鞘，シュワン鞘

**教科書：**

- ◆ 日本人体解剖学 上巻(南山堂) 第20版: pp.200~209, 356~363 参照
- ◆ 日本人体解剖学 下巻(南山堂) 第20版: pp.9~22 参照

**参考書：**

- ◆ 標準組織学 総論(医学書院) 第6版: pp.218~305 参照

**備考：**

3コマ分の実習の1コマ目は学年教室で実習内容の説明講義を実施する。2~3コマ目は感染症対策に配慮したうえで対面での実習をカタロスタワー 地下1階 実習室1で実施する。白衣、色鉛筆、講義プリント、教科書および参考書等を持参すること。

注意：実習の実施方法等は感染症の発生状況に応じて変更する可能性があるため、実際の詳細についてはユニットの開始時に掲示する実習実施要領を必ず確認して指示に従うこと。

**準備：**

**予習：** 当ユニットで既に学習したSF1-3 1~2の授業内容について復習しておくこと。(30分程度)

**復習：** 授業プリントと教科書等を用いて実習内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

**SF 1-3 4: 同上**

**日時：**11月26日(火) 2時限

**担当者：**高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

**内容：**

同上

**キーワード：**

同上

**教科書：**

- ◆ 同上

**参考書：**

- ◆ 同上

**備考：**

同上

**準備：**

同上

### SF 1-3 5 : 同上

日時：11月26日（火） 3時限

担当者：高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容：

同上

キーワード：

同上

教科書：

◆ 同上

参考書：

◆ 同上

備考：

同上

準備：

同上

### SF 1-3 6 : 組織学 6 (上皮組織の基本構造)

日時：12月2日（月） 2時限

担当者：高野 和敬(解剖学)

内容：

★PS-01-02-10)

1. 上皮組織の定義と主な構成要素について説明できる。
2. 上皮組織の分類と基本的な構造および機能について説明できる。

キーワード：

細胞接着装置，基底膜，扁平上皮，立方上皮，円柱上皮，単層上皮，重層上皮，多列上皮，移行上皮

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂） 第20版：pp.11～14, 190～192 参照

参考書：

◆ 標準組織学 総論（医学書院）第6版：pp.88～118 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。インターネット等の情報を利用して、脊椎動物における上皮組織の構造と機能の多様性について考察してみる。(15分程度)

復習：授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

### SF 1-3 7 : 組織学 7 (支持組織の基本構造)

日時：12月2日（月） 3時限

担当者：高野 和敬(解剖学)

内容：

★PS-01-02-11)

1. 支持組織の定義と主な構成要素について説明できる。
2. 支持組織の分類と基本的な構造および機能について説明できる。

キーワード：

線維芽細胞，膠原線維，弾性線維，細胞外基質，結合組織，疎性結合組織，密性結合組織，脂肪組織，軟骨組織，骨組織，血液とリンパ

**教科書：**

- ◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂） 第20版：pp.14～18 参照

**参考書：**

- ◆ 標準組織学 総論（医学書院）第6版：pp.119～217 参照

**準備：**

**予習：**教科書の上記の該当ページを読んでおく。インターネット等の情報を利用して、脊椎動物における支持組織の構造と機能の多様性について考察してみる。（15分程度）

**復習：**授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。（30分程度）

**SF 1-3 8：組織学8～10（組織学実習2）**

日時：12月3日（火） 1時限

担当者：高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

**内容：**

小腸・動脈・骨の標本を光学顕微鏡で観察してスケッチする。

1. ★PS-01-02-10・11) 上皮組織と支持組織の基本構造を説明できる。
2. ★PS-02-08-01, [別表]消化器系) 消化管の基本構造を説明できる。
3. ★PS-01-02-12) 血管の基本構造を説明できる。
4. ★PS-01-02-11, PS-02-05-01, [別表]運動器(筋骨格)系) 骨の基本構造を説明できる。
5. ★PS-01-02-10～15) 個々の器官が複数の組織から構築されていることを説明できる。

**キーワード：**

上皮組織, 支持組織, 粘膜上皮, 結合組織, 筋型動脈, 内膜, 血管内皮, 中膜, 平滑筋, 外膜, 骨組織, 骨膜, 骨単位, 層板構造(ハバース層板), ハバース管, フォルクマン管, 骨芽細胞, 骨細胞, 破骨細胞

**教科書：**

- ◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂） 第20版：pp.27～29 参照
- ◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂） 第20版：pp.9～18, 27～29, 190～192, 246～249 参照

**参考書：**

- ◆ 標準組織学 総論（医学書院）第6版：pp.88～217 参照
- ◆ 標準組織学 各論（医学書院）第6版：pp.3～19, 119～134 参照

**備考：**

3コマ分の実習の1コマ目は学年教室で実習内容の説明講義を実施する。2～3コマ目は感染症対策に配慮したうえで対面での実習をカタロスタワー 地下1階 実習室1で実施する。白衣、色鉛筆、講義プリント、教科書および参考書等を持参すること。

注意：実習の実施方法等は感染症の発生状況に応じて変更する可能性があるため、実際の詳細についてはユニットの開始時に掲示する実習実施要領を必ず確認して指示に従うこと。

**準備：**

**予習：**当ユニットで既に学習したSF1-3 1～7の授業内容について復習しておくこと。（30分程度）

**復習：**授業プリントと教科書等を用いて実習内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。（30分程度）

**SF 1-3 9：同上**

日時：12月3日（火） 2時限

担当者：高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

**内容：**

同上

キーワード：

同上

教科書：

◆ 同上

参考書：

◆ 同上

備考：

同上

準備：

同上

### SF 1-3 10 : 同上

日時：12月3日（火） 3時限

担当者：高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容：

同上

キーワード：

同上

教科書：

◆ 同上

参考書：

◆ 同上

備考：

同上

準備：

同上

### SF 1-3 11 : 発生学 1 (細胞分化と細胞系譜)

日時：12月9日（月） 2時限

担当者：高野 和敬(解剖学)

内容：

1. ★PS-01-01-12・13) 脊椎動物の個体発生と系統発生の関係性について説明できる。
2. ★PS-01-01-07, PS-01-02-22) 細胞系譜と発生運命の決定について概略的に説明できる。
3. ★PS-01-01-07, PS-01-02-22) 細胞分化のしくみについて概略的に説明できる。
4. ★RE-01-02-01・02, RE-05-02-01, PS-01-01-12・13, PS-01-02-22) 発生学研究に用いられる主な手法やモデル動物について説明できる。

キーワード：

個体発生, 系統発生, ファイロテピックな発生段階, 全能性, 多能性, 特異化, 決定, 細胞質運命決定因子, 誘導, ホメオティック遺伝子, 実験発生学

参考書：

◆ エッセンシャル発生生物学 (羊土社) 第2版: pp.15~20, 30~31, 45~49, 57~69, 73~78, 196~197, 319~325 参照

準備：

予習： インターネット等の情報を利用して、多細胞生物における細胞社会の構築と多様性について考察してみる。(15分程度)

**復習：** 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

### SF 1-3 12 : 発生学 2 (受精と初期発生)

日時：12月9日(月) 3時限

担当者：高野 和敬(解剖学)

内容：

1. ★PS-01-01-08, PS-01-02-22, [別表]生殖系) 配偶子形成の概略を説明できる。
2. ★PS-01-02-22, [別表]生殖系) 受精過程の概略を説明できる。
3. ★PS-01-02-22) 母性因子の役割について説明できる。
4. ★PS-01-02-22) 胞胚(二層性胚盤)形成について説明できる。

キーワード：

生殖細胞, 減数分裂, 精子, 卵, 受精, 多精子受精拒否, 母性因子, 卵割, 胞胚(二層性胚盤), エピブラスト, ハイポブラスト, 外胚葉, 内胚葉

教科書：

- ◆ 日本人体解剖学 下巻(南山堂) 第20版: pp.395~399 参照

参考書：

- ◆ エッセンシャル発生生物学(羊土社) 第2版: pp.20~26, 79~82, 124~128 参照
- ◆ ラングマン人体発生学(メディカルサイエンスインターナショナル) 第11版(原書第13版): pp.17~61 参照

準備：

**予習：** 教科書の上記の該当ページを読んでおく。インターネット等の情報を利用して、無性生殖と有性生殖の生物学的特徴について考察してみる。(15分程度)

**復習：** 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

### SF 1-3 13 : 発生学 3~5 (発生学実習 1)

日時：12月10日(火) 1時限

担当者：高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容：

両生類と鳥類の原腸胚および神経胚の標本を顕微鏡で観察してスケッチする。

1. ★PS-01-02-22) 原腸胚(三層性胚盤)形成の概略を説明できる。
2. ★PS-01-02-22) 原腸形成の概略を説明できる。
3. ★PS-01-02-22, PS-01-02-26) 神経管形成の概略を説明できる。

キーワード：

原腸陥入, 原腸胚(三層性胚盤)形成, 中胚葉細胞の移動, 三胚葉(外胚葉・中胚葉・内胚葉)形成, 原腸形成, 神経管形成

教科書：

- ◆ 日本人体解剖学 下巻(南山堂) 第20版: pp.397~401, 407 参照

参考書：

- ◆ エッセンシャル発生生物学(羊土社) 第2版: pp.80~85, 108~113 参照
- ◆ ラングマン人体発生学(メディカルサイエンスインターナショナル) 第11版(原書第13版): pp.63~69, 77~89 参照

備考：

3コマ分の実習の1コマ目は学年教室で実習内容の説明講義を実施する。2~3コマ目は感染症対策に配慮したうえで対面での実習をカタロスタワー 地下1階 実習室1で実施する。白衣、色鉛筆、講義プ

プリント、教科書および参考書等を持参すること。

注意： 実習の実施方法等は感染症の発生状況に応じて変更する可能性があるので、実際の詳細についてはユニットの開始時に掲示する実習実施要領を必ず確認して指示に従うこと。

**準備：**

**予習：** 当ユニットで既に学習した SF1-3 11～12 の授業内容について復習しておくこと。(30 分程度)

**復習：** 授業プリントと教科書等を用いて実習内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30 分程度)

### **SF 1-3 14 : 同上**

**日時：**12月10日(火) 2時限

**担当者：**高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

**内容：**

同上

**キーワード：**

同上

**教科書：**

◆ 同上

**参考書：**

◆ 同上

**備考：**

同上

**準備：**

同上

### **SF 1-3 15 : 同上**

**日時：**12月10日(火) 3時限

**担当者：**高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

**内容：**

同上

**キーワード：**

同上

**教科書：**

◆ 同上

**参考書：**

◆ 同上

**備考：**

同上

**準備：**

同上

### **SF 1-3 16 : 発生学 6 (三層性胚盤)**

**日時：**12月16日(月) 2時限

**担当者：**高野 和敬(解剖学)

内容：

★PS-01-02-22)

1. 原腸胚(三層性胚盤)形成の概略を説明できる。
2. 胚葉間相互作用(誘導作用)について説明できる。
3. オーガナイザーの役割について説明できる。
4. 三胚葉から形成される主な組織や器官の名称を述べるができる。

キーワード：

原腸胚(三層性胚盤), エピブラスト, ハイポブラスト, 中胚葉の移動運動, 三胚葉(外胚葉, 中胚葉, 内胚葉)の形成, 原腸, 脊索, オーガナイザー, 誘導作用(中胚葉誘導と神経誘導), 誘導物質

教科書：

- ◆ 日本人体解剖学 下巻(南山堂) 第20版: pp.399~401 参照

参考書：

- ◆ エッセンシャル発生生物学(羊土社) 第2版: pp.26~30, 82~85, 108~113, 128~131 参照
- ◆ ラングマン人体発生学(メディカルサイエンスインターナショナル) 第11版(原書第13版): pp.63~75 参照

準備：

予習： 前回までの授業内容について復習しておくこと。インターネット等の情報を利用して、脊椎動物における発生様式の共通性と多様性について考察してみる。(15分程度)

復習： 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

## SF 1-3 17：発生学7(原腸と神経管の形成)

日時：12月16日(月) 3時限

担当者：高野 和敬(解剖学)

内容：

1. ★PS-01-02-22) 原腸形成の概略を説明できる。
2. ★PS-01-02-22, PS-01-02-26) 神経管形成の概略を説明できる。
3. ★PS-01-02-22, PS-01-02-26) 脳・脊髄形成の概略を説明できる。
4. ★PS-01-02-22・23) 体節形成の概略を説明できる。

キーワード：

原腸, 神経板, 神経ヒダ, 神経管, 神経堤, 体腔, 壁側中胚葉, 臓側中胚葉, 体節, 皮筋板(皮筋節), 皮板(皮節), 筋板(筋節), 椎板(硬節), 終脳, 間脳, 中脳, 後脳, 髄脳, 脊髄, 形態形成

教科書：

- ◆ 日本人体解剖学 上巻(南山堂) 第20版: pp.442~447 参照
- ◆ 日本人体解剖学 下巻(南山堂) 第20版: pp.400~407 参照

参考書：

- ◆ エッセンシャル発生生物学(羊土社) 第2版: pp.83~85, 109~113, 128~133, 211~214, 223~225, 233~237, 261~264 参照
- ◆ ラングマン人体発生学(メディカルサイエンスインターナショナル) 第11版(原書第13版): pp.63~69, 77~105, 111~115 参照

準備：

予習： 教科書の上記の該当ページを読んでおく。インターネット等の情報を利用して、脊椎動物における発生様式の共通性と多様性について考察してみる。(15分程度)

復習： 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)



### SF 1-3 18 : 発生学 8~10 (発生学実習 2)

日時 : 12月17日(火) 1時限

担当者 : 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容 :

両生類幼生とマウス胚子の標本、および、生きた鳥類の胚子を顕微鏡で観察してスケッチする。

1. ★PS-01-02-22) ダイナミックな発生過程を四次元的概念(時間経過に伴う立体構造の変化)でイメージできる。
2. ★PS-01-01-12・13, PS-01-02-22) 個体発生の基本過程が種を越えて保存されていることを説明できる。
3. ★PS-01-02-22・23) 体節形成の概略を説明できる。
4. ★PS-01-02-22) 体腔形成の概略を説明できる。

キーワード :

個体発生, 系統発生, 胚盤, 細胞分化, 形態形成, 体節形成, 体腔形成, 器官原基

教科書 :

- ◆ 日本人体解剖学 上巻(南山堂) 第20版: pp.442~447 参照
- ◆ 日本人体解剖学 下巻(南山堂) 第20版: pp.400~407 参照

参考書 :

- ◆ エッセンシャル発生生物学(羊土社) 第2版: pp.83~85, 109~113, 128~133, 211~214, 223~225, 233~237, 261~264 参照
- ◆ ラングマン人体発生学(メディカルサイエンスインターナショナル) 第11版(原書第13版): pp.63~69, 77~105, 111~115 参照

備考 :

3コマ分の実習の1コマ目は学年教室で実習内容の説明講義を実施する。2~3コマ目は感染症対策に配慮したうえで対面での実習をカタロスタワー 地下1階 実習室1で実施する。白衣、色鉛筆、講義プリント、教科書および参考書等を持参すること。

注意 : 実習の実施方法等は感染症の発生状況に応じて変更する可能性があるので、実際の詳細についてはユニットの開始時に掲示する実習実施要領を必ず確認して指示に従うこと。

準備 :

予習 : 当ユニットで既に学習した SF1-3 11~17 の授業内容について復習しておくこと。(30分程度)  
復習 : 授業プリントと教科書等を用いて実習内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

### SF 1-3 19 : 同上

日時 : 12月17日(火) 2時限

担当者 : 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容 :

同上

キーワード :

同上

教科書 :

- ◆ 同上

参考書 :

- ◆ 同上

備考 :

同上

準備 :

同上

### SF 1-3 20 : 同上

日時：12月17日（火） 3時限

担当者：高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容：

同上

キーワード：

同上

教科書：

◆ 同上

参考書：

◆ 同上

備考：

同上

準備：

同上

### SF 1-3 21 : 臨床解剖学 1 (神経系の診察)

日時：12月20日（金） 3時限

担当者：永島 雅文(解剖学)

内容：

★CS-01-02-01, [別表]身体診察)

1. 神経学的診察法の流れを説明できる。
2. 脳神経の診察法の概略を説明できる。
3. 姿勢や歩行の評価法の概略を説明できる。
4. 徒手筋力テスト (MMT) の基準を説明できる。
5. 深部腱反射 (DTR) の評価基準を説明できる。

キーワード：

脳神経, 運動麻痺, 徒手筋力検査(MMT), 深部腱反射 (DTR), 病的反射, 感覚障害, 小脳失調

教科書：

◆ 診察ができる vol.1 身体診察 (メディックメディア) 第1版: pp.204~299, 336~363 参照

準備：

予習：教科書 診察ができる vol.1 身体診察 (メディックメディア) 第1版の関連項目(pp.204~299, 336~363)に目を通しておくこと。(15分程度)

復習：授業プリントと教科書を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

### SF 1-3 22 : 臨床解剖学 2~3 (神経学的診察の体験)

日時：12月20日（金） 4時限

担当者：永島 雅文(解剖学) 藤田 恵子(解剖学) 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学) 松澤 駿作(解剖学)

内容：

各自が検者および被検者となって、「神経系の診察」および「四肢神経と筋肉の診察」を実体験する。それぞれ「診察ができる vol.1 身体診察 (メディックメディア) 第1版」の204~299 ページ, 336~363 ページの説明に従って実習する。

★CS-01-02-01, [別表]身体診察)

1. 脳神経の診察法を実体験する。
2. 姿勢や歩行の評価を実体験する。
3. 徒手筋力テスト (MMT) の評価を実体験する。
4. 深部腱反射 (DTR) の評価を実体験する。

**キーワード：**

脳神経，運動麻痺，徒手筋力検査(MMT)，深部腱反射 (DTR)，病的反射，感覚障害，小脳失調

**教科書：**

- ◆ 診察ができる vol.1 身体診察 (メディックメディア) 第1版: pp.204~299, 336~363 参照

**備考：**

感染症対策に配慮したうえで対面での実習をカタロスタワー 7階 コンシリウムホールで実施する。教科書「身体診察と基本手技 (基礎臨床技能シリーズ5)」および「SF 1-3 21: 臨床解剖学1 (神経系の診察)」の講義プリントを必ず持参すること。身体診察実習に適した服装 (女性のスカート類はなるべく避ける) で参加すること。

注意：実習の実施方法等は感染症の発生状況に対応して変更する可能性があるため、実際の詳細についてはユニットの開始時に掲示する実習実施要領を必ず確認して指示に従うこと。

**準備：**

**予習：** 教科書「診察ができる vol.1 身体診察 (メディックメディア) 第1版」の関連項目 (pp.204~299, 336~363) に目を通しておくこと。(15分程度)

**復習：** 授業プリントと教科書を用いて実習内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

**SF 1-3 23 : 同上**

日時：12月20日 (金) 5時限

担当者：永島 雅文(解剖学) 藤田 恵子(解剖学) 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学) 松澤 駿作(解剖学)

**内容：**

同上

**教科書：**

- ◆ 同上

**備考：**

同上

**準備：**

同上

**SF 1-3 24 : 臨床解剖学 4 (組織欠損の修復と手の形態異常)**

日時：1月9日 (木) 4時限

担当者：時岡 一幸(形成外科・美容外科)

**内容：**

形成外科に必要な解剖学

1. ★CS-02-04-19・20, PS-02-04-01, [別表]皮膚系) 皮膚・皮下組織・筋肉などの局所解剖を応用した、形成外科の手術手技 (植皮術) について説明できる。
2. ★PS-02-05-01, [別表]運動器 (筋骨格) 系) 手指の局所解剖について概略的に説明できる。
3. ★CS-02-04-20, PS-02-05-01, [別表]運動器 (筋骨格) 系, [別表]疾患) 手指の先天性疾患に対する治療法について説明できる。

**キーワード：**

植皮術，皮弁，手指の先天性疾患 (合指症など)，形成外科，再建外科

**準備：**

予習： 人体の構造と機能 1-1 および 1-2 で学習した関連項目について復習しておくこと。(15 分程度)  
復習： 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(20 分程度)

**SF 1-3 25：臨床解剖学 5（内視鏡で見る消化器官）**

日時：1月9日（木） 5 時限

担当者：石橋 敬一郎(医学教育センター)

**内容：**

消化管の内視鏡の所見(粘膜の病変と内視鏡手術の実際)を紹介する。

1. ★CS-02-03-07, PS-02-08-01, [別表]消化器系, [別表]主要な臨床・画像検査) 内視鏡検査から見た消化管の解剖について説明できる。
2. ★CS-02-04-17, PS-02-08-03・4, [別表]消化器系) 内視鏡を用いた治療の概要を説明できる。

**キーワード：**

胃食道接合部, 食道癌, 胃癌, 大腸癌, 逆流性食道炎, 消化性潰瘍, 炎症性腸疾患, 内視鏡的止血, 内視鏡的粘膜切除術 (EMR)

**準備：**

予習： 人体の構造と機能 1-2 で学習した関連項目について復習しておくこと。(15 分程度)  
復習： 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(20 分程度)

**SF 1-3 26：臨床解剖学 6（関節鏡で見る関節の内部構造と手術）**

日時：1月14日（火） 3 時限

担当者：杉田 直樹(整形外科・脊椎外科)

**内容：**

関節鏡手術の実際について紹介する

1. ★PS-02-05-01, [別表]運動器(筋骨格)系) 関節鏡からみた肩関節や膝関節内の解剖について説明できる。
2. ★PS-02-05-03, PS-02-05-05, [別表]運動器(筋骨格)系, [別表]疾患) 関節鏡の手術所見と MRI などの画像所見の対比ができる。
3. ★CS-02-04-17, PS-02-05-03, PS-02-08-04, [別表]運動器(筋骨格)系) 関節鏡の利点・欠点について説明できる。

**キーワード：**

関節鏡, 肩腱板損傷, 反復性肩関節脱臼, 前十字靭帯損傷, 半月損傷

**準備：**

予習： 人体の構造と機能 1-1 で学習した関連項目について復習しておくこと。(15 分程度)  
復習： 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(20 分程度)

**SF 1-3 27：構造の観察 1（画像診断と手術手技）**

日時：1月17日（金） 3 時限

担当者：永島 雅文(解剖学)

**内容：**

★RE-01-02-02, RE-03-03-01~03, RE-05-02-01)

1. 解剖学的な多様性(個体差)の意味について説明できる。

2. 臨床解剖学研究の実例を供覧する。
3. 解剖学が診断と治療に直結することを説明できる。

**キーワード：**

破格 (anomaly), 変異 (variation), 臨床解剖学 (clinical anatomy), 画像診断 (image diagnosis), 模擬手術 (simulation surgery)

**準備：**

- 予習：** 当ユニットで既に学習した臨床解剖学 1~6 の授業内容について通覧しておく。(15 分程度)  
**復習：** 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(20 分程度)

**SF 1-3 28 : 構造の観察 2~3 (プラスチック標本の観察)**

日時：1月17日(金) 4時限

担当者：永島 雅文(解剖学) 藤田 恵子(解剖学) 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学) 松澤 駿作(解剖学)

**内容：**

★PS-02-03-01, [別表]神経系, PS-02-05-01, [別表]運動器(筋骨格)系, PS-02-06-01, [別表]循環器系, PS-02-07-01, [別表]呼吸器系, PS-02-08-01, [別表]消化器系, PS-02-09-01, [別表]腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む), PS-02-10-01, [別表]生殖器系

1. プラスチック標本を観察して、断面解剖の必要性を説明できる。
2. 頭蓋腔・大後頭孔・脊柱管と中枢神経との関係を説明できる。
3. 前・中・後頭蓋窩の境界と各々の内容について説明できる。

**キーワード：**

臨床解剖学, 断面解剖, 立体再構築, 画像診断, 後頭骨, 蝶形骨, 側頭骨, 頭頂骨, 前頭骨, 篩骨, 椎骨(頸椎, 胸椎, 腰椎, 仙骨, 尾骨), 胸部内臓, 腹部内臓

**教科書：**

- ◆ 日本人体解剖学 上巻・下巻(南山堂) 第20版の各観察標本に対応するページを参照すること。

**備考：**

感染症対策に配慮したうえで対面での実習をカタロスタワー3階の実習室3で実施する。白衣、教科書(日本人体解剖学(上巻・下巻))を持参すること。

注意：実習の実施方法等は感染症の発生状況に対応して変更する可能性があるため、実際の詳細についてはユニットの開始時に掲示する実習実施要領を必ず確認して指示に従うこと。

**準備：**

- 予習：** 人体の構造と機能1でこれまでに学んだ各種臓器の配置について復習しておくこと。(30分程度)  
**復習：** 授業プリントと教科書等を用いて実習内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30分程度)

**SF 1-3 29 : 同上**

日時：1月17日(金) 5時限

担当者：永島 雅文(解剖学) 藤田 恵子(解剖学) 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩(解剖学) 青地 英和(解剖学) 松澤 駿作(解剖学)

**内容：**

同上

**キーワード：**

同上

教科書：

◆ 同上

備考：

同上

準備：

同上

### SF 1-3 30：解剖学の思想（医学の歴史）

日時：1月20日（月） 4時限

担当者：永島 雅文(解剖学)

内容：

1. ★PS-01-01-12・13) 通年の授業で学んだ内容を総覧して、ヒトが生物の1種であることを再認識する。
2. ★PR-04-01-01, S0-04-05-01) 解剖学の歴史を通覧して、科学と哲学の推移を考察する。

キーワード：

生活環，個体発生，系統発生，個体の保存，種の保存，遺伝子，生態学，多様性と普遍性，細胞学と発生学の発展史

準備：

予習： 既に学習した「人体の構造と機能 1-1」の総論1~4の授業内容について通覧しておく。(15分程度)

復習： 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(20分程度)

### SF 1-3 31：実習序論（人体解剖と医の倫理）

日時：1月20日（月） 5時限

担当者：永島 雅文(解剖学)

内容：

★CM-03-01-01~03, CM-03-02-01・02, PR-04-01-01・02, S0-03-01-05, S0-04-05-01)

1. 篤志献体と医の倫理について説明できる。

キーワード：

死体解剖保存法，献体（body donation），ボランティア精神，感謝の解剖

準備：

予習： 篤志献体についてインターネット等を利用して調べてみる。(15分程度)

復習： 授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(20分程度)